



なきごえ



1986

3

大阪市
天王寺動物園協会

動物と私

江戸家小猫



人と会うと第一印象でなんとなくいい人だナーとか、チョットへんな人だナーとか感じます。付き合ってみてその通りかどうかは別として、とにかく人と接する時は、そう

いうことはつきものです。だから自分もそういう目でみられていることも必ずあるはずで、そんな時どう思われているか、たいへん興味深いことです。

動物と接するときもそれと同じことを思うことがあります。こちらをじっと見ていて、なにかを考えているようです。こいつはいったい何者なんだ、いい奴なのか、悪い奴なのか……もっとも考えてもわかるわけでもなく、その後なんらかの行動で、たとえばいたずらをしたり、しつこくしたり、そこで動物たちは、気にいるかいらないかを、判断しているようです。もっとも動物には直感があるから、人間以上に第一印象で判断しているかもしれません。言葉があればお世辞も言えます。自分を着飾ることも出来ます。でも動物たちは人間のそんなごまかしは、一切うけいれてくれません。だからこそいろいろな動物と接してみて、少しでもお付き合いしてくれたときは、すごくうれしいわけです。例えば馬の鼻づらをなでてやったら向こうからホオづりしてくれたり、なんだか知らないけど猫が自分の足もとにばかりきて、寝転がってくるとか、他の人にはシッポを振ったりお手をしたり、愛敬をふりまいているイヌが、なぜか自分のところへきた時だけは、ボンヤリしてなにもしないとか……。

なきごえ3月号もくじ

動物と私	2
“険しい岩山もなんのその”	3
動物園グラフ・動物園日記	4・5
ラマの繁殖	6・7
ヤブツカツクリの飼育・繁殖	8・9
キーパーズ・アイ ⑳	10
動物園ニュース	11

いつだったかフジTVのスタジオで浅香光代さんにお会いしました。浅香さんのサル好きは有名で、そのときもお気に入りのカニクイザルを連れていました。お話をしていると何を思ったかサル君。僕の方にやって来て肩にのると結構満足そう、こちらもオス!!なんてやっているうちに、すっかり仲よくなって、そのしるしにチュッとキスをしてくれました。驚いたのは浅香さん

「コイツは、私以外の人とは絶対キスをしないのに、よほど気に入ったのね。」

なぜかその日は、女房以外の女にもてたとき以上にうれしい一日でした。

チンパンジーのショーを司会したことがあります。結構面白くやって、いよいよ終りのとき、チンパン君こちらに向かって走ってきました。これは気に入ってくれたご挨拶だと思って手を出してまっていたら、ガブッ!! いたいなんの、あとで聞いたら僕がたっていた所は、いつも終るときにひとまわりするコースの上だったんです。自分の仕事の邪魔するへんな奴と思ったんでしょう。動物はわけもなく、おこったりはしないんです。

鹿島神社に行った時、たくさんの鹿がサクのむこうで放しがいになっていました。これはチャンス、鹿の声の勉強をしてみよう、そう思った私は、そばにいる一頭の前で、イイーンと鳴いてみました。そいつは僕のことをジーッと見ていました。しばらく沈黙が続きました。すると突然、イイーンと鳴きかえしてくれました。とてもうれしかった、その瞬間僕の目にはそいつが微笑んでくれたように見えました。

動物と接する時、僕は自分の心を見透かされるような、波ひとつない水面に映る真実を見るような、そんな気持ちになるんです。

(ものまね)

表紙の写真説明

“ヨザル” (*Aotus trivirgatus*)

中央アメリカから南アメリカにかけて住むこの原始的なサルは小さな群を作って、夜、活動します。

この2頭は大変仲が良いので、近い将来赤ん坊も期待できるかも知れません。

(撮影:大川光雄)



“険しい山もなんのその”

さすが岩山に住む動物、バーバリーシープの赤ちゃんは、生まれてすぐに立ちあがり、人間なら苦勞をする岩山もなんなく登り降りしています。

毎年4～5頭生まれますが、今年の第1号は2月7日に生まれたオスの赤ちゃん、寒さにめげずすくすく育っています。

(撮影:神原安昭)

動物園グラフ

“春を待つ動物たち”

今年の冬は厳しく、雪の舞い散る日もしばしばでした。2月の動物園はひとけも少なく動物舎の改修工事などもこの時期にまとめて行われます。そんな2月のある日、園内の動物たちの表情をスケッチしてみました。(撮影：山下 奉之)



フェレット(ケナガイタチ)も切株の上でひなたぼっこをイタチマス。



(アシカ池改修工事) アシカはしばらくの間、隣接のペリカン池で展示しています。



トラはふて寝で春を待つ??



(クマ舎放飼場改修工事) 冬眠??ではないのですがしばらくは寝室へ入れたまま、お目見えは春、3月中旬の予定です。



「春眠暁を覚えず」には少し早いが……オランウータンの“ブル”の大あくび。

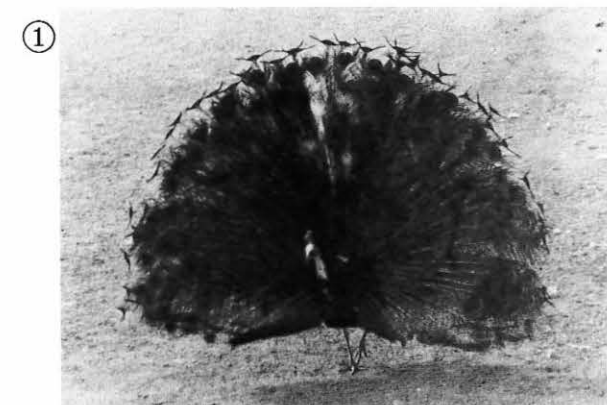
1・2月の動物園日記

- 1 / 12. 釣針をあやまって飲み込んだモズを保護し摘出手術を行ないました。
- 1 / 14. 交通事故で前足を骨折したタヌキを保護しました。手術は翌日となりました。トカラヤギの3つ子が生まれました。
- 1 / 15. ハナグマの雄の顔の一部がはれ上がり化膿している模様のため、麻酔し手術しました。
- 1 / 17. 14日生まれのトカラヤギ3頭のうち1頭が体温低下し虚脱状態となったため入院させ保温、点滴を実施したところ元気を回復しました。

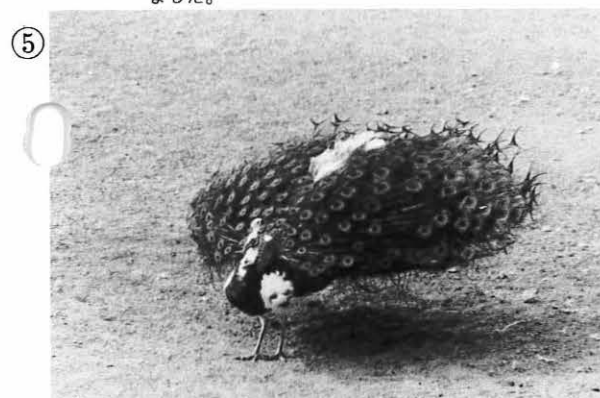
- 1 / 18. タスマニアデビルの雄“クロベア”の腰部と尾部が化膿しはじめたため治療を行ないました。
- 1 / 19. 第9回動物のお話とスライドの会「エトに因むトラのお話」を開催しました。
- 1 / 21. キンカジュウが交尾しました。
- 1 / 22. イワトビペンギンが産卵しました。
- 1 / 23. 昨年生まれの雄のキョンが急死しました。他のオスとの闘争によるショック死と診断されました。
- 1 / 23. チュウゴクオオカミ(黒変種)の出産準備のため寝室内にワラを入れました。コクチョウが本格的に巣作りを始めました。



懸命の努力にもかかわらず逃げられてしまいました。



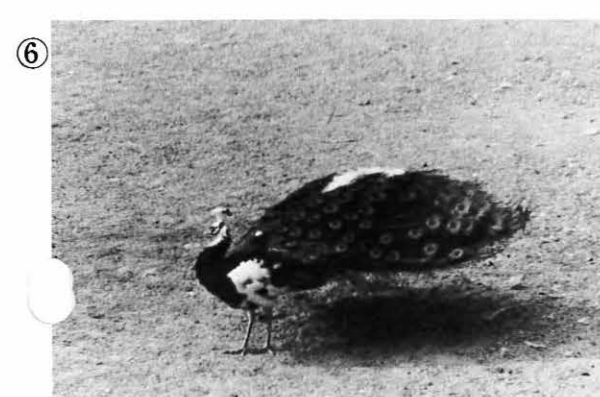
春は間近、カモシカ園にいるクジャクも羽根をひろげてディスプレイ(求愛行動)のリハーサル?



あきらめて飾り羽根を閉じていきます。



何を思ったのかこのクジャク君、近くにいたオスに近寄って行きます。



これであとは春を待つばかりカナ?



飾り羽根をいっぱいひろげて迫ります。

- 1 / 24. イワトビペンギンが2卵目を産卵しました。
- 1 / 25. ジャガーの雄、雌とも元気食欲がないため治療を開始しました。
- 1 / 26. パカの雄が足の底の激しい擦過傷から衰弱死しました。
- 1 / 27. ヤブツカヅクリ3羽を横浜市野毛山動物園へブリーディングローンにより貸し出しました。
- 1 / 28. ヒョウやライオンに伝染病の流行のきざしがあるため、各舎の消毒を行ないました。
- 1 / 29. 当園のスプリングボックの雄を、横浜市野毛山動物園の同種の雌と交換し、ブリーディングローンで同園より同種の雄を借り受

- けました。
- 1 / 30. モモイロペリカン1羽を飛翔防止のため、風切羽を切りました。
- 2 / 1. メジロを1羽保護しました。
- 2 / 3. クマ舎の擬岩工事がはじまりました。
- 2 / 5. エミューが交尾しました。
- 2 / 6. ドリルの雌が雄に追われ衰弱気味のため、動物病院へ隔離入院させました。ピューマの雌が食欲元気消失のため、治療を開始しました。
- 2 / 7. パーバリーシープに雄の子が1頭生まれま
- 2 / 9. コンドルが交尾しました。

ラマの繁殖

§ はじめに

現在、当園には6頭(オス1・メス5)のラマが仲良く暮らしています。ラマ：*Lama glama* は、南アメリカの4000m以上のアンデス山脈の高地で暮らすラクダ科の仲間で、今から4000年位前に、現地のインディオによって飼慣らされ家畜化されました。その後、野生のラマは減んで、家畜としてのラマが生き残ったといわれています。ラマは高地の厳しい自然環境に適応し、粗食に耐え、比較的繁殖も容易で、日本の動物園でも一般的にみられる動物です。当園でも昭和48年の12月20日に入園したオス(ゴロー)と、昭和49年12月20日に入園したメス(ホワイトイー)のカップルが、昭和51年5月12日にオスの赤ちゃんを出産して以来、現在までに16例の出産がありました。今回は当園におけるラマの繁殖行動、子育てなどについて観察結果を紹介しましょう。



ラマの繁殖行動、子育てなどについて観察結果を紹介しましょう。

§ おもしろいラマの出産

ラマの妊娠期間は、11ヶ月位だという報告がありますが、繁殖経験のある各園の記録では、175日から330日と広い幅があります。当園でも個体によって差があり、私がラマを担当した昭和58年の6月1日から現在までに、6回の出産例がありました。240日～320日と差がみられます。ラマの発情は一年を通して見られ、又、交尾後、妊娠の兆候が現われているにもかかわらず、交尾が観察される事があり、このため妊娠期間に大幅な差が出るものと思われます。そして、妊娠の兆候も個体差があり、最古参のホワイトイーとその娘のマリーでは、交尾後6ヶ月頃位から下腹部のふくらみが目立ち、乳房や乳頭も徐々に変化してきます。また乳房静脈も明らかに太くなり、浮き出て、一目で妊娠していると判断できます。しかし、マリーの娘であるロコの場合は、こうした兆候がまったく確認できず、突然の出産にびっくりさせられる事があるのです。出産はほとんどが早朝から昼の時間帯に集中しています。そしておもしろい事に当園のラマの出産日は、どういう訳か

良い天気には恵まれず(母親が好んで悪天候の日を選んでるのでは?) 日中の気温が35度を越える日とか、長雨続きの上、雷まで鳴り響く日とか、あまり出産には条件の良い日が多いのです。ここでその一例を紹介したいと思います。

昭和59年9月8日

- AM 8:20 ホワイトイーの下腹部を胎児が突きあげている。ホワイトイー、その場に座り込む。
- AM 8:30 尾をふって陰部をこする。胎児よく動く。
- AM 9:00 横座りになり、数回寝返りをする。排尿の回数が多くなる。
- AM 9:05 起立し歩き回る、息が荒くなり陣痛のため後肢をふんばって力む。
- AM 9:25 鉛色の空から雨が降りはじめた。
- AM 9:35 胎児活発に動き、ホワイトイーの下腹部が異常に変形する。
- AM 9:50 突然破水が始まる。ホワイトイー不安そうに歩きまわる。破水は断続的で、羊水の量も少ない。
- AM 9:58 破水と排尿をくり返す。
- AM10:00 乾草の上に座り込む、雨が激しくなり、雷もとどろく。
- AM10:25 仔の鼻ずらが見える。羊膜に包まれている。
- AM10:30 ホワイトイー立ち、下腹部に力を入れ、後肢を広げる。その直後、仔の頭と前肢が出る。
- AM10:35 頭と前肢、完全に出る。しかしホワイトイー、その場に座り込んでしまう。仔の頭が地面に押しつけられて危い。
- AM10:40 座った状態で、仔の体半分が出る。そしてホワイトイー立ちあがる。
- AM10:45 仔の体がすべり落ちるように地面に落ちる。出産完了。仔はメスの赤ちゃんである。
- AM11:00 ホワイトイー、後産排出。
- AM11:40 仔、立ちあがり、母親のオッパイに吸いつく。

§ 仔の成長

分娩後のラマの仔はまだ胎膜に覆われていますが、体を動かすにつれ、胎膜は少しずつ取れていきます。肉食動物などは母親が、胎膜をなめてとってやるのですが、ラマの場合、そうした事はありません。しかし、生まれ落ちた我子を盛んに立たせようと、鼻ずらを仔にすり寄せ勇気づけます。そして30分位で起立でき、足もしっかりとし、2～3時間もすると母親のそばで跳びはねるまでになります。これで次に哺乳の確認ができればこの出産は成功となるのです。出産時の仔の体重は10kg前後で、体高は50cm位です

が、成長は早く、6ヶ月で30kg、体高1m。そして1才で親と同じ位にまで成長します。ラマの子育てはうまく、仔が起立し母親のミルクを吸って母子の絆が強まれば、その後は順調に成長します。しかし、昨年予期せぬアクシデントがありました。3月20日の朝、一ヶ月も早くロコの分娩が始まり、その異常な空気に興奮したオスのゴローが、胎児の体が半分でかかったロコに交尾しかけたため、仔は左前肢を骨折してしまったのです。分娩後、動物病院に運び、レントゲンを撮ってもらい、骨折した部位にピンを入れてもらいました。3時間にも及ぶ手術の後、ギプスも痛々しい仔を母親の元にもどしました。その日は夜の10時頃まで観察しましたが、ギプスが重い



ためか、うまく立つ事ができず、母親のミルクを吸う事もできないので、哺乳びんで人工乳を与えました。次の日もやはり起立困難のためギプスを軽くしてみました。うまくいきませんでした。最後の手段として人工哺育に切り替えようとしたのですが、幸いにも母親は仔の面倒見がよく、仔を立たせようと鼻ずらで体を押ししたりしながら勇気づけているのです。仔もそれに答えて必死に立とうとするのですがどうしてもギプスが邪魔になるようでした。そこで試しに私が仔を抱き上げて立

たせたと、びっくりした事に母親は後肢を広げてミルクが吸い易い姿勢をしました。仔は唇をモグモグさせながら母親のオッパイを探し、やがてオッパイに吸いつき、チュウチュウとおいしそうにミルクを吸い続けました。哺乳は5分位続きました。そして仔を支えている私にもはっきりと判る位に、仔のお腹がミルクでいっぱいになりました。この介添哺育を5日間続け、1日に10回程、哺乳のために抱きかかえて立たせました。そして、6日目の朝、自力で立ち母親のミルクを吸っている光景が見られたのです。その日、このメスの赤ちゃんに、立てば歩めの気持からリッコと名付けました。

§ 今後の問題

ゴローとホワイトイーは入園してから現在までに輝かしい繁殖実績をあげたラマですが、父親はすべて同じで、親子交配の影響が出る恐れもあります。ですから、今後新しい血液の導入も考えなければならぬと思います。

(飼育課：農本 武志)

個体別出産日記録

ホワイトイー	マリー	ロコ
51.5.12 ♂		
52.11.3 ♀ (マリー)		
54.1.18 ♀	54.6.21 ♀ (ロコ)	
51.1.31 ♂		
56.7.23 ♂		
57.7.11 ♀		57.5.16 ♂
58.5.21 ♀ (セルマ)	58.8.23 ♀	58.11.27 ♂ (ロック)
59.9.8 ♀ (チコ)	59.9.5 ♀ (クーコ)	
60.9.23 ♀ (フミ)		60.3.20 ♀ (リッコ)

ラマの出産状況

A. ホワイトイー S49.12.20入園

- ① S59.9.8
朝10時45分出産メス(チコ) 破水から分娩まで30分。
- ② S60.9.23
朝9時10分出産メス(フミ)

B. マリー S52.11.3生 父ゴロー×母ホワイトイー

- ① S58.8.23
朝、8時頃分娩始まるが、難産のため仔を強制的に引き出す。仔は早、右後肢が先天的に不全のため起立できず、25日死亡

② 59.9.5

早朝、早の仔(クーコ)を出産していた。

C. ロコ S54.6.21生 父ゴロー×母マリー

- ① 58.11.27
朝8時30分、♂(ロック) 出産。妊娠の兆候見られず、突然の出産だった。
- ② 60.3.20
AM11:00すぎ破水始まる。♂のゴローが興奮し仔(リッコ)の左前肢骨折、ピンニングの手術を行う。

ヤブツカツクリの飼育・繁殖

§ はじめに

天王寺動物園のキジ舎では現在26種71羽のキジの仲間が飼育されていますが、今回はその中で、一見真っ黒で地味ですがとても興味深い習性をもつヤブツカツクリの話をしていきたいと思います。



ヤブツカツクリの雄(左)と雌(右)

§ 動物園での生態

現在キジ舎では、オス・メスそれぞれ1羽ずつとヒナ2羽が2室に分かれて飼育されています。

ニワトリを一まわり大きくし、色は真っ黒、他のキジに比べ大きめの足、と別に何の取柄もなさそうなこの鳥は、その名前「ヤブツカツクリ」が示す通り「塚を造る」鳥なのです。

動物園では昭和59年に新しいキジ舎が完成し、ヤブツカツクリ夫婦もその建物に引っ越しをしました。1日目はケージ内をウロウロ歩きまわっているだけでしたが、2日目の夕方頃からオスがその大きな足で土を後ろの方に蹴って塚を造り始め、翌日の朝には直径3m、高さ1m程もある立派な塚を完成してしまいました。

この塚はどうもオスにとっては大変神聖なものらしくメスが近づくと追いかけてまわし、繁殖期(他のキジ類とは違い3月～9月と大変長い)ともなるとメスの羽根はボロボロになってしまいます。それというのもこの塚は彼らにとって大変重要な役目をはたしているからなのです。

キジの仲間だけでなく鳥達は、卵を抱いて暖めてヒナをかえますが、この鳥は自分で卵を抱いたりせず、塚の中に埋めてしまうのです。

野生のものでは数kmも離れた場所から落ち葉をか

きよせそれを高く積み上げ塚を造ります。そして落ち葉の発酵熱を利用して卵を暖めるということです。ツカツクリの仲間には、この他に海辺の砂の熱を利用したり、火山の噴火口近くでその熱を利用するものまでいます。彼らにとってこの塚は他の鳥達の巣にあたるものなのです。そしてこの塚を造るのはすべてオスの仕事であり、メスはたくさんの塚の中からより大きな塚に卵を生みに行くため、クジャク等のするディスプレイの役目も果たしているのです。

オスはただ塚を造ればよいというのではなく、常に塚の中の温度が一定になるように塚を高く積み上げたり削ったりと一日中休む間もなく働き、外敵から塚を守ったりと大忙しです。



オスが築き上げた塚

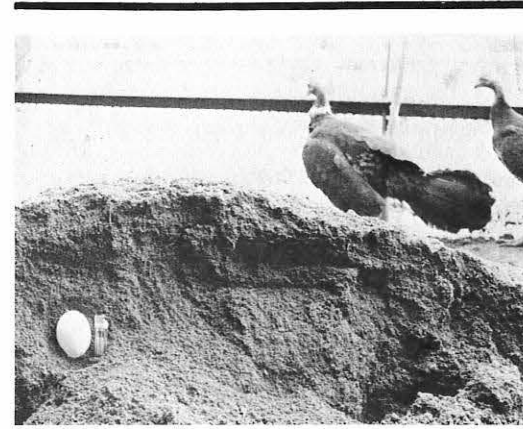
このオスに比べ、メスはというと卵を産むと後は知らぬふりと他のキジの仲間のメスとは大違いのように見えますが、そんな事はありません。卵を産むといってもその期間は長く3月～9月、10月まで、産卵数も少ない年で12卵、昨年などは50卵も産んだ記録があります。卵もその体に比べ大変大きなもので200g(鶏の卵の3～4倍)もの重さがあり、その卵を10日に3卵ほど産まなければならない、そのうえオスに追いかけられたりと、これもまた重労働だろうと感心しています。

昨年の秋に落ち葉を敷きつめたのですが、いつの間にか塚の中に消えてしまいました。

ポカポカと暖かくなった日などオスはしきりと土をかきあげています。

§ 人工孵化の記録

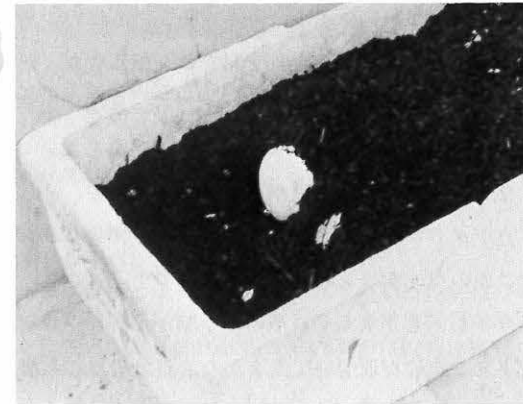
孵化には人工孵化・自然孵化・仮母による孵化等



塚の中の卵

様々な方法が考えられますが、ヤブツカツクリの場合、自然孵化をさせるには、野生の場合の塚とは違い落ち葉が少なく土ばかりの塚であるので発酵熱を利用する事はできません。また、たとえ孵化したとしても自然ではヒナは孵化直後から単独生活し親に育てられる事はないとされているので、最悪の場合にはオスによって殺される可能性もあるので、人工孵化によって繁殖をすすめる事にしました。

人工孵化といっても他のキジ類とは違うためどうしていいのかわからず、最初のうちは失敗の連続でした。人工孵化を始めてから5年目の昭和59年度に卵をピートモスと腐葉土を混ぜあわせた中に埋め、温度を36℃に保ち、初めて有精卵を得ました。結果としてこの3卵は中止卵となりましたが、翌60年度には、同じ条件での人工孵化を試みました。5～11



孵卵器に入れた卵

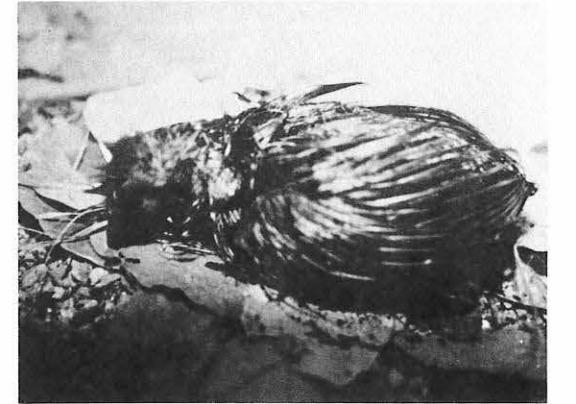
月の間に合計46卵を塚の中から掘り出し孵卵器に入れ、そのうち7卵が孵化しました。2羽は死亡しましたが、残る5羽は無事に成長しました。孵化日数は28

～67日と幅が広く、これは温度によって変化するものと考えられますが、平均40日前後です。孵化には温度よりもむしろ湿度の加減が重要であると思います。

§ ヒナの生態

孵化直後のヒナの体重は130g位で、羽根が一本ずつゼラチン状のサヤできれいに包まれており、自分でこれはずします。孵化後2日間は何も食わずにじっと座りこんでいて、つついても動こうとしません。水を飲むのも確認されませんでした。しかし捕まえると激しく抵抗し走る事もできるようでした。

これらの事から想像できるのは、自然孵化の場合ヒナは孵化後塚の中でしばらく(1～2日)いて、その後自力で土を掘り外に出てくる(その時に羽根



孵化したばかりのヒナ

を包むサヤもはずれる。)のではないかとこの事です。

いずれにしても、孵化後には単独で生活していかなければならないヒナ達ですから、卵の中で十分に成長しておかねばならず、他のキジ類と比べると卵も大きく孵化日数も長いというのも納得できます。

このようなヒナですから飼育も温度さえ気をつければ意外と強く、丈夫で成長も早いようです。

§ おわりに

ツカツクリは、その珍しい繁殖方法にもかかわらず地味な外見のせいか、日本の動物園では当園の他は野毛山動物園で飼育されているのみです。昨年繁殖した5羽も春には野毛山動物園、埼玉子ども動物園へとそれぞれ出ていきます。このキジの仲間一番の働きものヤブツカツクリを、たくさんの人に知ってもらいたいものです。

(飼育課：早川 篤)

☆ 奥目になったカメレオン

先日、爬虫類の担当者がカメレオンを手に乗せ首をかきげながら私達のところにやって来ました。どうしたのかと見てみると、何とそのカメレオンの右目が大きくへこんでしまっているのです。

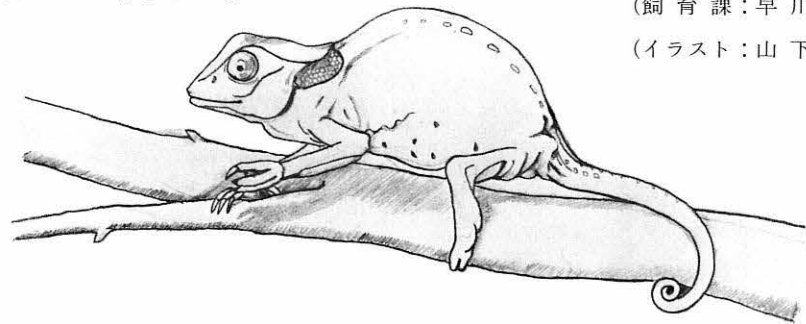
同居している他のカメレオンと闘争でもしたのかと思いましたが、出血もなく、傷跡も見られず、それにその目でやはりキョロキョロとあたりを見ているようで、一応見えている様子でした。

結局、原因不明で別にどうする事もできず、頭をかかえる私達を横目で見ながら、当のカメレオンは担当者の手の上で黄色かった体をだんだん黒くしていき、相変らず物憂そうに奥目になった目をキョロキョロとさせながら、「どうでもいいから早く帰してくれよ。」とでもいいかげん様子でした。

まったく不思議な動物ですね。

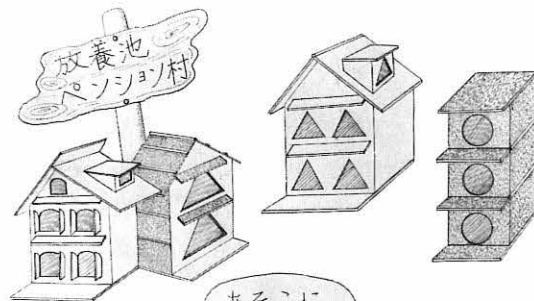
(飼育課：早川 篤)

(イラスト：山下 奉之)

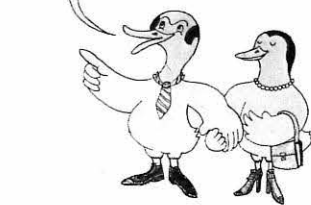


デイレピスカメレオン

☆ 天王寺動物園のペンション村



あそこ
しょうか。



シュバシコウにタンチョウ、ガン・カモにキジの仲間と今や水禽放養舎は、鳥達でいっぱいです。

春ともなると、マイホームを求め、あちこちでイザコザが絶えません。それを見かねた担当者が、白い壁に青い屋根の小屋を造ったところ、鳥達に大変評判がよく、すぐに満室になってしまいました。

今では3階建ての小屋や、杉皮ぶきの小屋、そしてカナダガンの山小屋風の丸太小屋など、さながら、どこかのペンション村のような風景です。

今年も、もうすぐそれぞれの小屋から新しいヒナが巣立つ季節が近づいてきました。自分の造った巣箱からヒナが巣立つ時、それは飼育担当者にとって一番うれしい時なのかもしれませんね。

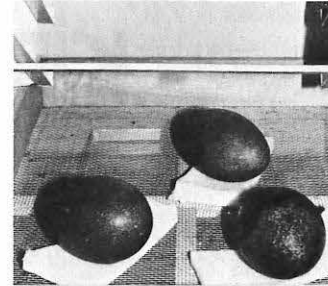
(飼育課：早川 篤)

(イラスト：山下 奉之)

動物園ニュース

§ エミユウ、只今人工ふ化中、

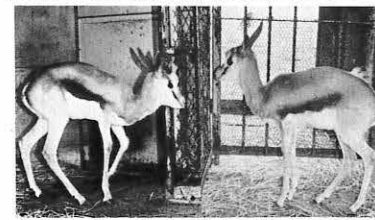
エミユウの人工ふ化を行なっています。エミユウは、普通数日間隔で7~10個ぐらい卵を産むものですが、今期はどうしたことか12月8日に初卵を産んでからなかなか産卵せず、やっと12月28日に2卵目を産みました。今年は親が抱卵する行動がみられなかったため、12月29日からふ卵器の運転を開始し、人工ふ化を試みています。その後、1月3日に3卵目を産みましたが、またその後の産卵はなく、現在3卵を人工ふ化中です。



毎日の卵の重さの測定と微妙な動きから2卵は有精卵と思われる。ふ化には50日ぐらいを要しますので、2月中にはふ化すると思われる。当園では1982年以来エミユウはふ化していませんので、ぜひふ化させたいものです。

§ スプリングボック来園

当園ではスプリングボックを1966年の4頭の来園以来約20年間にわたって飼育しています。一時は7頭まで増加したこともありますが、1984年2月にメスが死亡してからはオス2頭だけになってしまいました。そこで、かねてからメスの入手が望まれていましたが、横浜市野毛山動物園で昨年生まれたメス



左オス 右メス

と当園生まれの9才のオスの交換がこのほど実現しました。また、同時に野毛山動物園で昨年生まれたオス1頭を借り受け、現在オス2頭、メス1頭の構成となりました。従来から飼育しているオスとの同居はまだ先になりそうですが、今後の繁殖が楽しみです。

また、昨年当園でふ化したヤブツカヅクリ3羽を野毛山動物園へ貸し出しました。

§ シュバシコウの巣材準備

毎年恒例となったシュバシコウのための巣材の準備が2月17日に行なわれました。水禽放養舎に設置されている高さ約10mの8基の巣台に飼育課職員に

現在の飼育動物数

(1986年1月31日現在)

哺乳類	13目	112種	409点
鳥類	18目	176種	587点
爬虫類	3目	32種	63点
計	34目	320種	1,059点



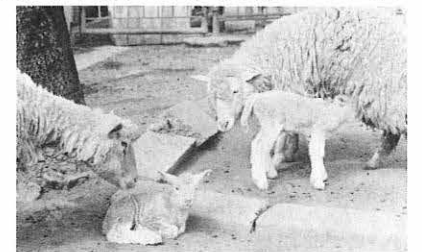
よって、次々に巣材の柳の小枝が運び上げられました。4月終りには次々とひながふ化し、今年も10羽前後のひなが育つことでしょう。

また、今年は放養舎に巣箱や、抱卵のための隠れ場所をたくさん作りましたので、他の水鳥たちの繁殖も

充分期待できそうです。

§ 赤ちゃん誕生!!

1月14日に今年第1号の赤ちゃんとしてトカラヤギの3つが



つが生まれたことは先月号でお知らせしましたが、

その後、ヒツジの赤ちゃんが1月24日にオス、2月13日にメス、16日にオスと3頭生まれています。また、バーバリーシープも、2月7日にオスの赤ちゃんが生まれています。これから暖かくなるにつれて、



本格的な赤ちゃんラッシュが始まり、いろいろな動物の赤ちゃん

が生まれることでしょう。

◎ 只今、工事中!!

2月初旬から、冬期の動物舎補修工事が始まっています。主な工事は、マレーグマ舎及びツキノワグマ舎の擬岩の改修、アシカプールの補修、ホッキョクグマ舎放飼場の塗装、ゾウ舎運動場の土間改修などで、次々に工事は行なわれています。3月までの工事中は、一部の動物をご覧いただけませんが、ご了承下さい。

* 休園日のお知らせ *

動物園の休園日は毎月第3日曜日です。5月までの休園日は下記のとおりです。
3月17日(月)、4月21日(月)、5月19日(月)
開園時間は午前9時30分から午後5時までで、午後4時に切符売止めになります。

ゆとり満喫、信頼のカード。

ショッピングから海外旅行まで、
1枚のカードでワイドにご利用いただけます。
近鉄がDCおよびVISAと提携した便利な新カード。

近鉄グループカード
〈キップス〉 KIPS

◎国内・海外のDC加盟店すべてに通用。
◎近鉄百貨店グループをはじめ、都ホテルチェーンなどでの
ご利用にはいろいろな特典が。

近鉄百貨店 お問合せとお申込みは 各店クレジットセンターへ
 ●アベノ店7階 ●上本町店10階 ●東大阪店本館 ●奈良店4階 ●京都都店1階
 (京都ファミリー)

●オールカラー

ひかりのくに 監修・阪口浩平
指導・宮武頼夫

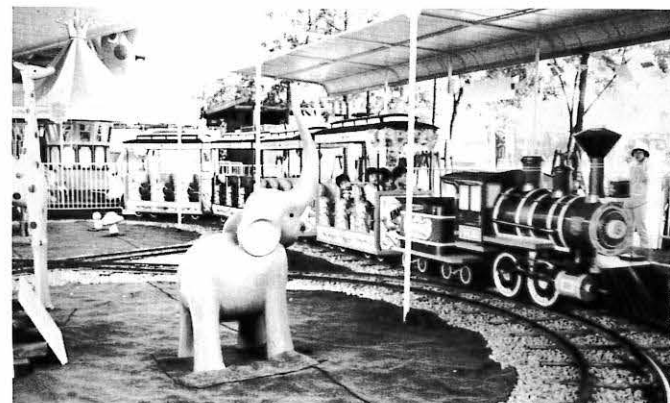
むし
くらしとかいかた

今まで、気にもとめなかつた自然の中で昆虫たちが生きている。みんなも、虫になって自然の中を歩いてみよう。きつとすばらしいことに出会えるはずだ。

85・変形 580円
84ページ

ひかりのくに株式会社
〒543大阪市天王寺区上本町3-2

たのしいのりもの、が待っています。



1人1回
100円
(1才まで無料)

団体割引
(30人以上)
……1割引

久竹娛樂株式会社
TEL (06) 541-3112

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

世界初の最高感度

(カラープリント用フィルム)

1600 新登場!

かろの大林

桜橋本店 ☎341-8091
三番街店 ☎372-5031



フジカラー HR 1600

ISO1600/33° 135-24枚撮

ビデオ
動物園へ行こう
の無料貸出をします。

- 貸出品目/ビデオ「動物園へ行こう」
①巻・20分(10本常備)
- 対 象/保育園、幼稚園、小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸 出 料/無料(但し、郵送料450円は必要)
- 申 込 先/当協会まで、電話かハガキで
お申し込み下さい。

動物観察の手引に

**天王寺動物園
ガイドブック**

のご購読をおすすめします。
(1冊¥450)園内各売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会

〒543/大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

新刊

動物文学会主宰 平岩米吉著

猫の歴史と奇話

(定価・2600円)
A5判・260頁
口絵挿画・113図

猫に関する古今東西の科学と文献を網羅し、しかも平易な文章で綴った猫の宝典。著者の三十余年にわたる収集研鑽の成果、ここに結実。

☆学術書でありながら、推理もののように愉しく読める猫の本
☆架空の伝説は別に、猫の珍しい実話400余を収載

主な目次

第一章 猫の歴史

欧州は古代エジプト、日本は宇多天皇から近世まで

第三章 猫の報恩談

蛇を咬んだり、金を運んだりする

第五章 猫の奇話(上)

長命、多産、三毛猫などの形態の奇話

第七章 猫の奇話(下)

マタタビを娯薬とする奇妙な習性など

第二章 猫股伝説

老猫化けてさまざまな怪異をなす

第四章 野性猫の存在

裏日本の山猫、離島の山猫、鬱陵島の猫の渡来など

第六章 猫の奇話(中)

長距離の帰家記録や鼠を育てるなど不思議な行動

第八章 益獣としての猫

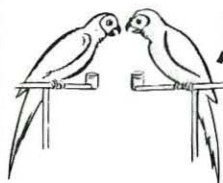
あらゆる角度から猫の生態と効用を探究

発行 動物文学会

〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2
電話(03)717-1659・振替東京5-9800

発売 (株)池田書店

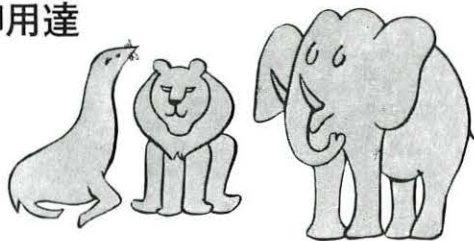
東京都新宿区弁天町43番地
振替・東京4-165425



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円

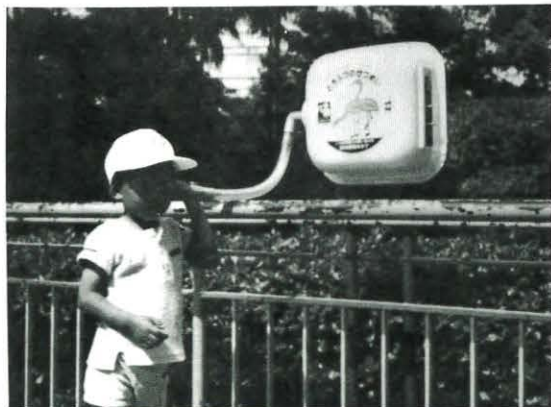


有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数カ所にあります

関西特機株式会社

電話 06-762-2333

1回 20円

大阪国際人形劇フェスティバル

4月23日(水)~29日(祝)

「大阪国際人形劇フェスティバル」は、大阪が世界に誇る「文楽」をはじめ、世界各地の伝統的な人形劇や国際レベルの現代人形劇を一堂に会し、その民族的表現や芸術性を競い合う祭典で、同時に記念セミナーや展示会など人形劇に関連するイベントを展開し、国際文化交流に大きく寄与するものです。

自由・活力・創造 大阪2001



シャーリー・ルイス(アメリカ)



ドラック(チェコスロバキア)

世界の
一流人形劇団が
大阪で
連日公演



国立バルナ人形劇場(ブルガリア)



人形劇団クラルテ(日本)

主催/財団法人大阪21世紀協会

● 来日予定の劇団と演目、プロフィール

シャーリー・ルイス(アメリカ)

●オーケストラ人形劇ショー
エミー賞5回受賞、腹話術の女王が大フィルに合わせて踊る豪華な人形劇。

ドラック(チェコ)

●眠れる森の美女(チャイコフスキー)
チェコ若手実力劇団の一味違う童話人形劇。ヨーロッパ、アメリカで人気随一。

スリラムセンター人形劇場(インド)

●ウジャ(暁の踊り) ●マル姫のパラード
古代インド・ラジャスタンの人形神技が今、目の前によみがえる。

泉州木偶劇団(中国)

●火焰山～西遊記より～
中国人形劇の故郷福建省泉州提線木偶(マリオネット)の秘技、秘術を公開。

A・ローゼル(西ドイツ)

●グスタフとそのアンサンブル
マリオネットの巨匠A・ローゼルの円熟した芸が見る人の心を打ちます。

国立バルナ人形劇場(ブルガリア)

●プブ BuBu
ブルガリアの至宝。1978年ゴールデン・ドルフィン賞にかがやく人形劇の粋。

劇団ソナンダン(韓国)

●忘釈僧戯(マンソクチュンノリ)
日韓文化交流のミッシング・リングを探る幻の影絵の日本初公開。

なお、国内からは、文楽、クラルテ、地元関西劇団などが参加し、来日劇団と覇を競います。

(来日の劇団、演目は変更されることがあります。)

●大阪国際人形劇フェスティバル公演スケジュールと料金

演目・(会場)	23日(木)	24日(木)	25日(金)	26日(土)	27日(日)	28日(月)	29日(祝)	料金(前売)
シャーリー・ルイス(アメリカ) (ザ・シンフォニーホール)	14:00 19:00	14:00 19:00	14:00 19:00	14:00 19:00				S席10,000(9,000) A席8,000(7,000) B席6,000(5,000)
泉州木偶劇団(中国) (国立文楽劇場)			18:30	18:30	14:00	18:30		S席3,500(3,000) A席3,000(2,500)
文楽座・のろま広栄座(日本) (国立文楽劇場)	18:00							S席3,500(3,000) A席3,000(2,500)
劇団ソナンダン(韓国) (国立文楽劇場小ホール)					16:30	18:30		2,500(2,000)
関西人形劇団パラエティショー(日本) (国立文楽劇場小ホール)			18:30	14:00				2,500(2,000)
スリラムセンター人形劇場(インド) (近鉄劇場)				14:00	14:00	18:30	14:00	S席3,500(3,000) A席3,000(2,500)
*A・ローゼル(西ドイツ) (近鉄小劇場)	18:30	18:30	18:30					3,500(3,000)
(岸和田市立文化会館)				18:30				
ドラック(チェコスロバキア) (近鉄小劇場)				18:30	16:30	18:30	16:30	3,500(3,000)
国立バルナ人形劇場(ブルガリア) (池田市民文化会館)			18:30					2,500(2,000)
(高島屋ホール)					14:00	14:00		
人形劇団クラルテ(日本) (高島屋ホール)							14:00	2,500(2,000)

*A・ローゼルの公演は、12歳以下のお子さまは入場をご遠慮ください。

入場券のお求めは下記窓口までどうぞ!

近鉄プレイガイド(近鉄上本町駅 地下1階) (06) 773-5990
阪神プレイガイド(阪神梅田駅 西改札口) (06) 347-6510
阪急プレイガイド(阪急三番街 紀伊国屋南側) (06) 373-5446
京阪プレイガイド(京阪淀屋橋駅構内) (06) 202-7547
南海プレイガイド(南海難波駅 2階改札口) (06) 641-8686

アスクプレイガイド(朝日新聞社ビル地下1階) (06) 222-1115
毎日プレイガイド(堂島地下街 毎日ホール付近) (06) 344-3340
高島屋プレイガイド(高島屋 西館1階) (06) 641-2331
大丸プレイガイド(大丸心斎橋店1階) (06) 271-1231
ザ・シンフォニーホール(シャーリー・ルイスのみ) (06) 453-1010
アシーネプレイガイド(阪急池田駅ステーションNビル) (06) 380-2525
国立文楽劇場(文楽劇場で公演するもののみ) (06) 212-2531
近畿日本ツーリストの各営業所(関西/38営業所、東京/主要10営業所)

主催/財団法人大阪21世紀協会

●お問合せ:大阪21世紀協会人形劇推進室 ☎06-942-2001(〒540 大阪市東区京橋2-35 大阪キャッスルホテル4階)

動物園内での お食事、ご休憩は

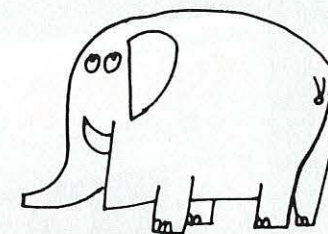
大阪市天王寺動物園内

中央売店

☎(06) 771-0973



天王寺動物園内



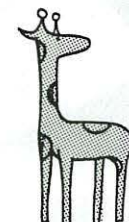
南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶臼山町6-74
電話 (06) 771-7110番

園内でのお写真は…

動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機しておりますので説明に伺いました際は、よろしくお願ひ致します。

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせていただきます。
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

国際航空写真株式会社

T E L 06-856-7444

新鮮です、さわやかです。フルーツが入った、おしゃれなヨーグルト。



果肉とソフトヨーグルト
の名コンビ

自然の
おいしさ



雪印ヨーグル

●ブルーベリー・キウイフルーツ・ストロベリー・オレンジ・カクテル

ペットを飼っている人にも飼えない人にもこの1冊

ペット大図鑑

あらゆるペットの飼い方、殖やし方、
治療法がひと目でわかります。

1部/犬・猫など 2部/リス・アライグマなどの小動物
3部/金魚・熱帯魚・海辺の生きもの 4部/洋鳥・和鳥・鳩など
5部/は虫類や昆虫など、めずらしい生きもの 巻末/ペットの便利情報ガイド

総監修 / 中川道朗 (大阪市天王寺動物園協会専務理事)

監修 / 浦東信夫 / 榊原安昭 / 内田 至

石原重厚 編修協力 / 宮武頼夫

特別
価格 **2,950円**

(定価3,300円) ※送料無料

同封の専用紙または郵便局の振替用紙にて
お申込みください。振替口座 / 大阪5-98163

(株)グリーンアド・コミュニティ

〒550 大阪市西区西本町3-1-46 TEL. (06) 531-0415

好評発売中



サイズ **AB判** (25.7×21cm)

カラー **160**ページ・全 **400**ページ

なきごえ 昭和61年 3月10日発行 (毎月1回10日発行) 第22巻 第3号 (通巻247号)

編集 / 大阪市天王寺動物園

発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

印刷所 / 株式会社 松村善達堂 定価100円(送料共) 1年継続(12部) 1,100円(送料共)

編集委員

(土井良彦 / 伊東重朗 / 小出雅三 / 榊本 勲 / 中川哲男 / 前田豊彦 / 宮下
大野尊信 / 山下奉之 / 農本武志 / 野口秀高 / 早川 篤 / 藪野幸司 / 堀

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 大阪 37823

実 / 長瀬健二郎 / 榊原安昭 / 森本委利
弘 / 大川光雄